

XV750 Special

1981年 / 市販車

ヤマハ発動機初の本格的な V 型 2 気筒エンジンを搭載したクルーザー（アメリカン）モデル。XS650 Special のスタイルをさらに洗練させた、重厚感とクラシカルな美しさを両立させたデザインが特徴。エンジンを強度メンバーとして活用する、モノコック構造のバックボーンフレームにより、車体の中心に据えられた V ツインエンジンの存在感の主張がデザインの大きな要素となっている。

低い着座位置からヘッドパイプに向けボリューム感のあるティアドロップ型燃料タンクがせりあがる様に配され、明確な段差を持つシートはリヤタイヤを抑え込むような印象によって駆動輪を強調することで、欧州系ロードスポーツモデルとは全く異なる世界観を表現している。

XV750 Special の成功は、その後のヤマハ発動機のクルーザーモデルの方向性を決定づけた。この V ツインエンジンは、改良を加えながら「ビラーゴ」シリーズや「ドラッグスター」シリーズといった後継モデルに引き継がれ、ヤマハのクルーザーブランドの礎を築いた。

1978 - XS650 Special



1984 - XS750 Virago



1997 - Drag Star 400



COMMUNICATION
PLAZA